

	氏 名	村上 寛 (Yutaka Murakami)
	職 位	准教授
専 門 分 野	看護技術	
担 当 授 業 科 目	看護管理学 看護技術特論 普遍実践看護学演習ⅠA・ⅠB・Ⅱ 特別研究Ⅰ・特別研究Ⅱ	
教 員 か ら 一 言	<p>看護は実践であり、その実践を支えるものは教育・研究・管理の3つの柱です。本過程では、看護実践の質を高めるための教育者、研究者、管理者の育成を目指しています。</p> <p>私たちに与えられている人生の時間は前に向かって一方向に進みます。その不可逆的過程に積み重ねられた経験は、人生の最期まで、人としての成長に繋がる尊いものです。そして年齢にかかわらず、より深い意味をその経験に与え、その経験をより豊かにしてくれるものは、自分の内に無い「ことば」からの修学です。</p> <p>実践者、教育者、管理者として経験を積み上げてきた看護職の皆様に、また私自身も、本研究科での学びを通し、新たな看護の視野と意味を見出す成長の機会になることを願っています。</p> <p>【座右の銘】 “Theory without practice is empty, Practice without theory is blind”</p>	
学 歴	専門学校三育学院カレッジ看護学科 卒業 Walla Walla Univ. School of Nursing, Bachelor of Science 卒業 Oregon Health & Science Univ. School of Nursing, Master of Science 修了 大阪大学大学院 医学系研究科保健学専攻, 博士課程 修了	
学 位	博士（保健学）	
主 な 職 歴	急性期一般病棟看護師(内科外科系)、約8年 手術室看護師、約6年(米国1年含む) 一般病院看護部長、約16年	
研 究 テ ー マ	看護実践を支える工学機器に関する研究 看護実践の質とその評価に関する研究	
主 要 著 書 ・ 論 文	<ul style="list-style-type: none"> ■ 看護を支援する工学機器に関する研究（博士論文）、大阪大学、2018 ■ Evaluating the Effectiveness of a Vascular Access Imaging Device Used in Training Recently Graduated Nurses, JRM, 29(2):346-352, 2017 	

	■ Evaluating the clinical applicability of a wearable lift assist device from a nurse's perspective, NSE,3(2):101-108, 2016
そ の 他	連絡先 : murakami@saniku.ac.jp